

科目名	地域のチャレンジ1
担当者名	堀内久雄/杉山歩

【科目の目的】

山梨県内で地域づくりの側面から様々な活動にチャレンジしている方をお招きし、ゲストの方のビジョン・考え方・思い・コンセプトを拝聴する中から活動を成功に導いた原動力について学びます。講義に登壇するゲストは自治体やNPOでの活動を通して日本から世界へ山梨の魅力を発信している方々です。

本科目を通して地域にありながらグローバルにチャレンジすることの意味について自ら考えて、地域資源の持つポテンシャルについて認識することを目的とします。

(学士基盤力)

自然・社会・文化理解、想像力・表現力、実践力・問題解決力、自己学修力

【到達目標】

(知識・理解)

- ・地域資源のもつポテンシャルについて説明できる。
- ・ビジョンを伴う行動の大切さについて説明できる。

(思考・判断・表現／思考・技能・実践)

- ・世界で勝負するためのブランディングについて理解出来る。

(態度・志向性)

- ・志を持って地域を発展させることの重要性について自身の課題として捉える事が出来る。

【授業内容】

本講義ではゲスト講師の話を聞きながら、担当教員と共に地域資源を活用した世界レベルでの挑戦について考えていきます。各回は以下のゲスト講師を予定していますが、講師の都合により多少の入れ替えがある可能性があります。

第1回(10/6 金)：富士吉田のまちづくり 渡辺一史(富士吉田市外2ヶ村恩賜県有財産保護組合総務部理事)

第2回(10/13 金)：小菅村のむらづくり 船木直美(小菅村 村長)

第3回(10/20 金)：八ヶ岳の観光地域づくり 小林昭治(DMO八ヶ岳ツーリズムマネジメント代表)

第4回(10/27 金)：小さな村のむらづくり 小村幸司(NPO法人小さな村総合研究所代表理事)

第5回(11/ 3 金)：かえる舎の取り組み 斎藤和真(特定非営利活動法人かえる舎代表)

第6回(11/10 金)：アメリカヤ 千葉健司((株)イロハクラフト代表取締役社長)

第7回(11/17 金)：富士山アウトドアミュージアム 舟津宏明(富士山アウトドアミュージアム代表)

第8回(11/24 金)：かつぬま朝市 高安一(かつぬま朝市会 会長)

(授業外の学修)

参考資料の閲覧とレポート課題を課します。

【教育方法】

講義はゲスト講師の講演を聴く形で進めますが、質問時間を多く取り、受講生が積極的にゲスト講師と会話を行う機会を作ります。

(実務経験のある教員による教育方法)

ゲスト講師の実務経験にもとづいた体験談を聞きます。

【評価方法】

(知識・理解)
各回の課題レポート 40%
(思考・判断・表現／思考・技能・実践)
最終課題の完成度と各講義での質問時間のレスポンス35%
(態度・志向性)
講義への参加態度(含 質疑応答、議論への参加、レポート)25%

【必携図書】

適宜プリントなどを配布します。

【参考図書】

講義時に適宜紹介します。

【履修上の注意】

- ・本科目は、16:30～18:00の時間帯に山梨県立大学飯田キャンパスで実施します。
- ・時間厳守をお願いします。
- ・オンラインでの受講となった場合は顔出しでの参加を必須とします。
- ・地域のチャレンジ2を受講する予定が無くとも受講可能です。

【履修者へのメッセージ】

多忙なゲスト講師を集めました。とても贅沢な講義ですので、積極的に質問をぶつけて下さい。